

キャラクター名	プレイヤー名
仁藤 螢 “Crumble Days” 完走	

シンドローム	サラマンダー	ワークス	UGNチルドレンC	カヴァー	高校生
	パロール				
オプション		年齢	17	性別	男
覚醒	死	衝動	飢餓	初期侵食率	32 %
出自	安定した家庭	経験	平凡への憧れ	邂逅	秘密

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	33
肉体	2	0	0			2	行動値	13
感覚	1	0	1			2	(非装備時)	13
精神	3	1	2	3		9	戦闘移動	18
社会	2	0	0			2	全力移動	36

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	7		交渉		
回避	1		知覚			意志	2		調達	3	
運転:			芸術:			知識:グルメ	1		情報: UGN	4	
運転:			芸術:			知識:			情報: 噂話	3	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				
グラビティポイント	RC	12r+7		15		1+2+3+4+5。C値8。
グラビティポイント(100↑)	RC	17r+7		38		1+2+3+4+5+7。C値7。
グラビティポイント(160↑)	RC	20r+7		46		1+2+3+4+5+7。C値7。

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ: 噂好きの友人	
コネ: UGN幹部	

合計装甲:	0	合計回避:	0
-------	---	-------	---

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
超侵食	P	N		
六道輪廻	P 慕情	N 劣等感		
高神弥生	P 懐旧	N 恐怖		
日下部仁	P 執着	N 不安		
速水空我	P 連帯感	N 脅威		
探してた猫	P 羨望	N かわいい		
劔翔悟	P 友情	N 脅威		

最大財産P:	10	残り財産P:	
--------	----	--------	--

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
ダークマター	3	2	マイナー	至近	自身	自動	—	
効果: ダイス+LV個。								
コンセントレイト:サラマンダー	2	2	メジャー	—	—	—	—	
効果: C値- (LV) ※最大値7								
焦熱の弾丸	1	1	メジャー	視界	—	対決	—	
効果: <技能: RC>攻撃力+ (LV+2)。								
黒の鉄槌	5	1	メジャー	視界	—	対決	—	
効果: <技能: RC>攻撃力+ (LV×2+2)。同エンゲージ不可。								
因果歪曲	2	3	メジャー	—	範囲(選択)	—	—	
効果: <技能: シンドローム>対象を範囲(選択)に変更。1シナリオLV回。								
プラズマカノン	3	4	メジャー	視界	単体	対決	100↑	
効果: <技能: RC>攻撃力+ (LV×5)。								
氷盾	3	2	オート	至近	自身	自動	—	
効果: ガード値+ (LV×5)。								
時の棺	1	10	オート	視界	単体	自動	100↑	
効果: 相手が判定を行う直前に使用する。判定を強制失敗させる。1シナリオ1回。								
ディメンジョンゲート	1	3	メジャー	至近	効果	自動	—	
効果: これでいつでもご飯処に行けるぜ!								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

任務をこなすことや、優秀な成績を得ることによる昇級よりも、3度のご飯が好きでUGNチルドレン。シナリオ中では度々古代種のエージェントである六道輪廻にご飯を奢ってもらっていた。座右の銘は「腹が減っては戦はできぬ」、「果報は寝て待て」、「お前はお前、俺は俺」。とある任務で自身の過去を振り切り、オリジナルと決別し、新たな人生を生きていく覚悟を決めた。(Dロイスを複製体から超侵食に変更。)

パロールとサラマンダー、両方の力をソツなく攻撃に転換できるRC型であり、その戦闘ムーヴはスポーツ、とりわけ球技種目を元にしてのいる。野球型、庭球型、籠球型...その種類は球技種目の数だけあるほどあると思われる。荒ぶる炎を手の平で形成し、それを重力で球形にコーティングし、サイズを調整することにより種々の球技種目をモチーフにした攻撃方法として再現している。

「翔悟のやつ、今頃一体どこで何やってんだろうな...マスターロイスを倒して、何かすごいことになっちゃって...賢者の石ってのは本当に分からないことだらけだぜ。ま、もしあいつが帰ってきたら飯にでも連れてってやるよ。それまでにはうまい飯屋をたくさん見つけとかかねえとな。まあ当然、俺とあいつで折半だけだな。へへ...いや待てよ、甘味処でもいいかもしれねえな。もしくは軽食屋とかでも(ぶつぶつ)」

「桐生菜月...俺のオリジナル...俺が最初に運んだ賢者の石...まさか俺のルーツが賢者の石になってたっていうのはだいぶ驚いたぜ。ま、好きなように生きてほしいっていうなら、そうさせてもらうぜ。確かにあんたは俺のオリジナルかもしれないが、お前は高神兄妹を始めとしたどちらかというと日常側の人間で、俺は何よりも飯が好きで非日常側のチルドレン。それでいいじゃねえか。お前はお前、俺は俺だ。俺は俺のやりたいようにやる。これまでもそうしてきたし、これからもそうするつもりだ。...あばよ、菜月」

「空我はなあ、同級生で支部長だけど、アクシズってどこに所属してる。いつも気軽に話しかけてるからそういうのは意識しないか忘れそうになるんだよな。あいつ、いざって時はすごく頼りになるし、支部長としての仕事も毎日追われながらももしっかりやってるからな。そういうことは見習いたいぜ。根が詰まりすぎてるよなら飯屋にでも連行してやるさ。腹が減っては戦はできぬ、だからな」